

現状・投資判断診断書

Legacy Bridge Standard —— Gate 1 成果物

文書ID	LB-G1-01	バージョン	v1.0
作成日	2026年8月19日	対象Gate	Gate 1
作成者(役割)	業務・投資診断担当 / QA・受入設計担当	レビュー担当(役割)	プロジェクト責任者
機密区分	顧客提出用	変更履歴	v1.0 2026年8月19日 初版作成

CONTENTS / 目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 現状業務フロー
3. 基幹と周辺作業
4. 対象業務・データ・権限
5. KPI基準値
6. 直接キャッシュ効果(年)
7. 業務余力
8. 事業継続リスク
9. 顧客サービス
10. 内部統制
11. 変化対応力
12. 選択肢1: 現状維持
13. 選択肢2: 小規模改善
14. 選択肢3: Legacy Bridge
15. 選択肢4: 全面刷新
16. 選択肢比較
17. 推奨
18. 非推奨条件
19. Gate 2で確認する事項

エグゼクティブサマリー

結論: **Legacy Bridge(Read先行)**を推奨。主要根拠: (1)照会対応が2名へ集中し月218時間を消費 (2)手入力起因の
実損が年36万円発生 (3)対象がRead3本+単純Write1本の最低構成に収まる。次の一步: Gate 2で総額を固定し、
Readパイロットへ。

02

現状業務フロー

営業所→電話/FAX→本社営業管理(5250画面で照会・入力)→回答/訂正。月末はExcel突合。

03

基幹と周辺作業

基幹内: 受注・在庫・引当・出荷。周辺の手作業: 電話回答(月約820件)、FAX訂正の手入力(月約210件)、月次突合
(月16時間)。

04

対象業務・データ・権限

- 対象: 受注F・在庫F・得意先M・品目M(計4ファイル)
- 既存プログラム: 受注訂正RPG(JYUCHU-UPD)が承認後更新に利用可能
- 権限: 読取専用プロファイル発行可。Write用は承認者分離で発行

05

KPI基準値

KPI	現状値	測定方法	測定日
WAIT: 在庫・納期回答時間	平均34分	電話受付記録40件	2026-08
STOP: 1人しか処理できない重要業務	6件	業務棚卸	同上
ERROR: 月間誤入力・再処理	18件	再処理台帳	同上
CHANGE: 新規照会追加の所要日数	45日	直近2案件平均	同上

06

直接キャッシュ効果(年)

項目	金額	根拠
残業代削減	180万円	照会・転記残業 月30時間×2名×2,500円×12か月
外注費削減	84万円	月次突合の派遣委託 月7万円

項目	金額	根拠
実損削減	36万円	誤入力起因の誤出荷・修正 年実績
合計	300万円	実現率は投資判定時に別途設定

07

業務余力

月218時間の解放見込み(財務ROIへは算入しない)。参考時間価値: 218時間×12×2,500円=654万円/年(参考値)。

08

事業継続リスク

属人化: 担当2名のうち1名が定年まで2年。発生確率20%×損失800万円×軽減率50%=年80万円(前提つき試算)。

09

顧客サービス

回答34分→目標3分。営業所の自己解決率0%→80%目標。

10

内部統制

現状: 訂正の証跡が紙FAX。改善: 承認・監査ログ・変更前後記録を標準装備。

11

変化対応力

新規照会の追加45日→目標10日(API追加ベース)。

12

選択肢1: 現状維持

費用0/リスク: 属人化進行・実損継続。

13

選択肢2: 小規模改善

RPAで照会の一部自動化は可能だが、FAX訂正・証跡は解決しない。

14

選択肢3: Legacy Bridge

Read3本+Write1本+画面2つ。想定価格帯はLB-G1-02参照。

15

選択肢4: 全面刷新

基幹自体は安定しており、刷新は過大投資(一般論として3年超・数億円規模になりやすい)。

16

選択肢比較

選択肢	費用	期間	リスク	効果
現状維持	0	—	属人化・実損継続	なし
小規模改善	小	1〜2か月	部分的	照会の一部のみ
Legacy Bridge	想定価格帯参照	10〜14週間程度	段階導入で限定	照会+訂正+証跡
全面刷新	大	年単位	移行リスク大	全面

17

推奨

Legacy Bridge(Read先行)。前提: 読取権限付与、JYUCHU-UPD経由のWrite経路が成立すること(Gate 2で確認)。

18

非推奨条件

Gate 2でJYUCHU-UPD経路が不成立かつ直接更新しか経路がない場合は、範囲をReadのみに縮小して再判断。

19

Gate 2で確認する事項

- JYUCHU-UPDのインターフェース仕様
- 夜間バッチとの排他
- VPN経路と認証方式
- 監査ログ保管要件

参考資料: ヒアリング記録2回分・画面写し・再処理台帳。